

## 子ども医療費助成制度の改定案

### 対象年齢が中学3年までに 入院は負担ゼロ 3歳から小学3年までの世帯は負担増に！

新年度予算には、子ども医療費助成制度について、対象年齢を中学3年生までとすることとあわせ、自己負担額を変更する予算案が提案されています。

「医療費助成の中学3年までの年齢引き上げ」は大西市長の公約です。昨年3月、改定案が議会に提案されましたが、3歳から小学3年生の子どもを持つ世帯では、

3倍～4倍の負担増となることから、市議会は再考を促す付帯決議を議決し、制度実施は見送られてきました。

今回の案は、対象年齢を中学3年まで引き上げ、入院費を無料とする一方で、3歳から小学3年生を持つ世帯は、通院費の負担増（500円→700円）とあわせ、新たに薬代の自己負担が発生するなど、負担増となります。

#### 【現行制度】

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
入院	医科	0	0	0	500	500	500	500	500	500	500	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
	歯科	0	0	0	0	0	500	500	500	500	500	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
通院	医科	0	0	0	500	500	500	500	500	500	500	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
	歯科	0	0	0	0	0	500	500	500	500	500	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
調剤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外



#### 【今回の改定案】

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
入院	医科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院	医科	0	0	0	700	700	700	700	700	700	700	1200	1200	1200	1200	1200	1200
	歯科	0	0	0	0	0	700	700	700	700	700	1200	1200	1200	1200	1200	1200
調剤		0	0	0	700	700	700	700	700	700	700	1200	1200	1200	1200	1200	1200

## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか やまべひろし

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 1036

2017年2月26日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホームページ：共産党 熊本市議団 [検索](#)

## 2017年度第1回定例会

### 上野みえこ議員が一般質問を行います

日時：3月7日(火)午前10時～12時まで

場所：市役所議会棟2階・予算決算委員会室

\*傍聴は、市役所・区役所のモニターでできます。

\*インターネットでの同時中継は、市役所HPで視聴できます。



#### 【質問項目】

- 熊本地震への対応（一部損壊への支援ほか）
- 子どもの貧困
- 介護保険
- 桜町再開発・MICE
- 子ども医療費助成
- 市役所の働き方
- 立野ダム問題 など

地震被災で本会議場が使用できないため、予算決算委員会室での開催です。傍聴は、モニターやインターネット中継となります。

(控室から)  
朝の街頭宣伝

やまべひろし



毎週、市内各所で定例の朝宣伝をやっています。そのひとつ、北区のある幹線道路の交差点。ここには、私だけでなく、ほかの議員さんや候補者、市民団体などさまざまな方々が宣伝をされています。毎朝、この交差点を通る人にとっては、さながら日替わりメニューのような感じに見えるのではないのでしょうか。

交通量が多く、たまに犬の散歩などで通られる人以外は、自転車通学の学生や出勤へと急ぐ車が目の前を通り過ぎるばかりです。はたして、私の訴えがどれだけ届いているのだろうかと思うことがあります。

しかし、これがあなどれないのです。思いがけない場で、「いつもあの交差点で見かけていますよ」と声をかけられたり、「家のなかで聞いているよ。この間はPPPのことを話してたね。あれはよかった」といわれ、驚き、恐縮することがありました。

これまで以上にわたしたちの政策や取り組みが、皆さんにしっかりと届く演説を心がけねば、と思わされる出来事でした。

## 来年度の予算が提案されました

2月21日より、来年度の予算を審議する市議会が開会しました。震災からの復興を本格的に進めていくため

に、大変大事な予算となります。予算の特徴や主な事業についてお知らせします。

## MICE整備・桜町再開発に100億円超の支出

**(仮称)熊本城ホール整備事業 71億2510万円**  
**桜町再開発事業補助金 33億2650万円**

大西市長が、復興の重点プロジェクトと位置付けるMICE整備と桜町再開発（床取得・補助金・利子等総額450億円）には、来年度100億円超の予算が提案されています。一方、一部損壊世帯への住宅再建に向けた市独自の予算は、高齢者世

帯が住宅再建に向けて貸付を受けた際の利子補給（2000万円/年・3年間）など、被災者が求める水準とはかけ離れています。

生活再建に向けた市の姿勢が厳しく問われる予算です。

## 県の基金による宅地被害への支援制度が予算化

これまで、宅地の被害（液状化や擁壁被害）については、国からの補助制度はあるものの要件に合わず、多くの被災者が支援の枠から外れていました。こうした世帯に対し、県の基金

を活用し、宅地復旧支援事業（47億4800万円）が計上されています。家のジャッキアップなど、50万円を超えた額（上限1000万円）の3分の2を補助する制度です。

## 小学校エアコン設置経費(残り46校分)が提案

小学校の教室へのエアコン設置予算が提案されています。今年度まで、中学校と小学校46校分が予算化されており、来年度残りの46校が予算化されたことから、全ての教室においてエアコン設置されることとなります。

## 署名2570筆の重み一被災者に寄りそった支援の拡充を

2月20日、「平和と民主主義、暮らしを守る熊本市民連絡会（市民連）」は、熊本市に対して、「一部損壊被害への支援制度創設を求める署名」2750筆の提出と、被災者生活支援の改善を求める申し入れを行いました。申し入れには、市議団も参加しました。

## 国民健康保険の医療費ならびに保険料の減免の延長を

緊急の申し入れとして、本年2月末で期限を迎える、国民健康保険・後期高齢者医療保険の医療費ならびに保険料の減免の延長を要望しました。

過去の震災では、減免が打ち切られたため、病院の受診をひかえ病状が悪化したという事例

が報告されています。

国は2月9日に、医療費ならびに保険料の減免を延長するための財源を支援する通知を出しています。

これにもとづき市は、減免の延長をすべきです。

## 国・県へさらなる支援の要請と、市独自の取り組みを

- その他の要望として、
- ・被災者支援、復旧・復興のため、「国の全額負担、そのための特別措置法の制定」を強く働きかけること
  - ・生活再建支援金を500万円へ引き上げること
  - ・一部損壊支援の対象から外れ

- る世帯には、義援金からだけではなく市の財源からの支援を
- ・各種被災者支援制度の申請期限を延長すること
  - ・住宅の改修等への助成に、熊本市独自の上乗せをすることなどが要望されました。